

将来の世代への責任を果たし、より良い未来を築くため、 事業を通して社会や環境に貢献してまいります

本年は、2016年に発効したパリ協定がいよいよ始動する年です。パリ協定では、世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保ち、1.5℃に抑える努力をすることが世界共通の長期目標として掲げられており、今日、企業に対してもより一層の地球温暖化対策の取り組みが期待されています。

当社グループでは、製品の省エネルギー化や生産工程におけるエネルギー削減などを通じて、地球温暖化をはじめとする環境問題に、真摯に取り組んでまいりました。

これからも、環境問題への継続的取り組みを企業の社会的責任ととらえ、引き続き積極的に推進してまいります。

また、同時に実効性の高いコーポレート・ガバナンス体制を構築し、事業活動の礎となる強固な経営基盤を確立することで、環境問題のみならず社会の課題解決に貢献してまいります。

なお、当社グループは、昨年度版より、従来の「環境報告書」を一步前進させ、当社グループのESG(環境・社会・ガバナンス)の取り組みを紹介する「社会・環境報告書」として発行しています。この度の2020年度版では、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションをより一層図るべく、ESGに関する記事をさらに充実させています。

特集では「事業を通じた社会課題の解決」をテーマに、地球温暖化対策や安全・安心な食環境づくりといった社会課題に対する当社グループの取り組みをご紹介します。具体的には、国内外の環境配慮型製品やHACCP(食品の衛生管理手法)に関するソフト面・ハード面からのお客様のサポートなどを取り上げています。また、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションの方法などを紹介しています。

当社グループでは、社会に貢献できる「進化する企業」であることを経営理念に掲げています。将来の世代への責任を果たし、より良い未来を築くため、全社員の力を結束し、事業を通して社会や環境に貢献してまいります。

ステークホルダーの皆様には、ぜひ本報告書をご覧ください。さまざまな観点から忌憚のないご意見を頂戴できれば幸いです。



ホシザキ株式会社 代表取締役社長

小林 靖浩

コンプライアンス、内部統制のさらなる強化による 再発防止策について

2018年に端を発したグループ会社における不適切な取引および内部統制上の不備に関し、お客様をはじめステークホルダーの皆様には多大なるご心配とご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

本件に関しては、以下の施策を実行し、コンプライアンス、内部統制のさらなる強化による再発防止を図りました。

<再発防止策>

- (1)グループ会社最適ガバナンス方法の確立
- (2)内部統制項目の追加と将来に向けたIT化
- (3)グループリスク管理機能の確立
- (4)国内販売会社目標管理制度・人事制度の見直し
- (5)ホシザキとグループ会社のそれぞれの管理機能最適化
- (6)コンプライアンス、内部統制強化に貢献する教育体制の整備

今後とも内部管理体制の強化およびコーポレート・ガバナンスの充実に継続的かつ実効的に取り組んでまいります。